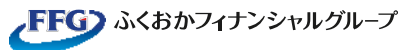


# プロフィール

2023年9月末日現在



設立日 平成19年4月2日  
 本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号  
 資本金 1,247億円  
 従業員数 7,765人

連結子会社	
28社 2023年10月末日現在	
格付情報	
A+	R&I 発行体格付
A+	JCR 長期発行体 格付

## 福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日  
 本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号  
 資本金 823億円  
 従業員数 3,572人  
 本支店数 166 (福岡県内148)

貸出金	11.7 兆円
預金量	13.6 兆円
格付	AA- *1 AA- *2 A3 *3

## 熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日  
 本店所在地 熊本市中央区水前寺六丁目29番20号  
 資本金 100億円  
 従業員数 795人  
 本支店数 69 (熊本県内62)

貸出金	2.3 兆円
預金量	1.6 兆円
格付	AA- *1 AA- *2

## 十八親和銀行

設立日 昭和14年9月1日  
 本店所在地 長崎市銅座町1番11号  
 資本金 368億円  
 従業員数 1,977人  
 本支店数 179 (長崎県内155)

貸出金	4.1 兆円
預金量	5.6 兆円
格付	AA- *1 AA- *2

\*2023年10月1日経営統合

## 福岡中央銀行

設立日 昭和26年6月5日  
 本店所在地 福岡市中央区大名2丁目12番1号  
 資本金 40億円  
 従業員数 441人  
 本支店数 39 (福岡県内39)

貸出金	0.4 兆円
預金量	0.5 兆円
格付	AA- *1

\*1 R&I 発行体格付 \*2 JCR 長期発行体格付 \*3 Moody's 長期預金格付

●海外拠点数(福岡銀行海外駐在員事務所): 8

(香港、上海、大連、ニューヨーク、シンガポール、バンコク、台北、ホーチミン)

## 「FFG統合報告書2023」を発刊しました

当社グループの中長期的なビジョンをご理解いただくためのツールとして、「FFG統合報告書2023」を発刊しました。今回は、「社会価値の提供」と「経済的価値の向上」の好循環を創出し、企業価値を向上させながら、「豊かな地域社会」の実現を目指すというFFGの価値創造ストーリーを発信しています。当社グループをより深くご理解いただければ幸いです。



FFG統合報告書2023 検索

●当社グループホームページ掲載場所は  
 ホーム>株主・投資家情報>統合報告書

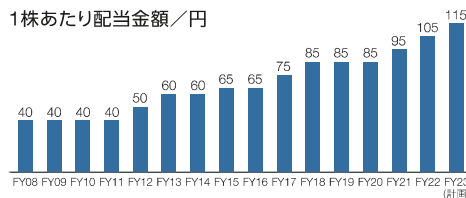


## 株主還元の充実

当社グループの株主還元は、利益成長による安定的な配当(維持・増配)を基本としており、2007年の設立以来、配当の維持・増配を実現してきました。2022年度にスタートした第7次中期経営計画では、健全性の維持を前提に、成長投資と株主還元のバランスを考慮して、配当性向35%程度を目安とする業績連動型の配当テーブルを設定し、安定的な利益還元を目指しています。

また、自己株式の取得については、今後も業績動向や資本の状況、成長投資の機会、市場環境などを考慮して、機動的な実施を検討いたします。

1株あたり配当金額/円

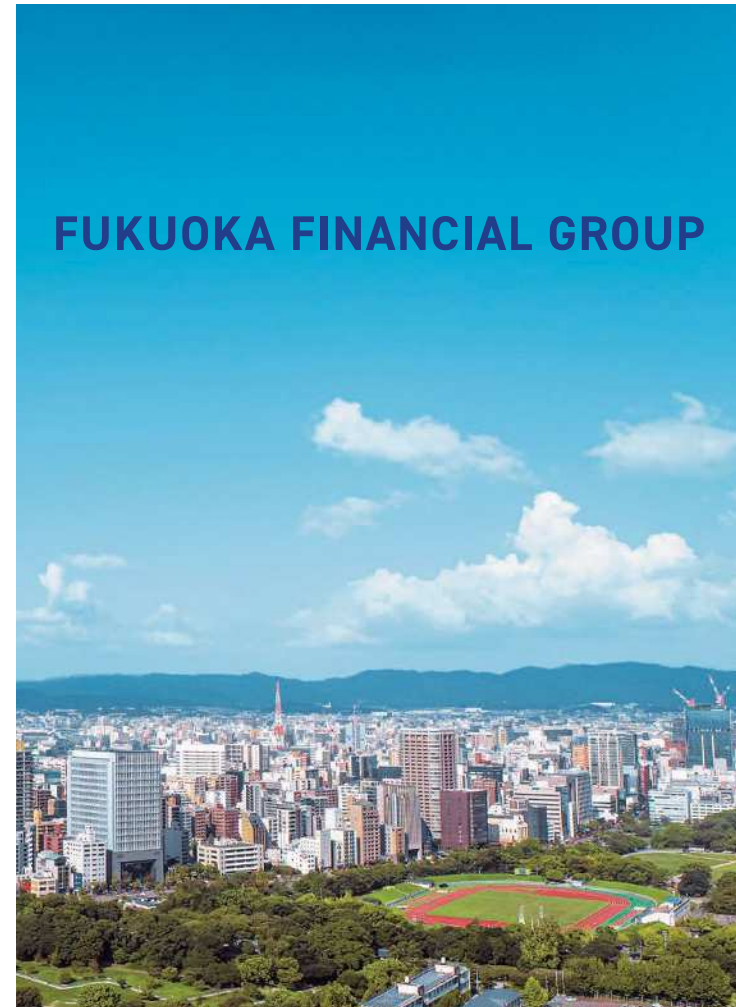


\*2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で併合いたしました。  
 上記の数値は、2018年9月以前の配当金を株式併合後の金額に引き直して計算しております。

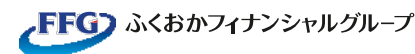
商号等	加入協会
株式会社福岡銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第7号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社熊本銀行(登録金融機関) 九州財務支局長(登金)第6号	日本証券業協会
株式会社十八親和銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第3号	日本証券業協会
株式会社福岡中央銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第14号	日本証券業協会
FFG証券株式会社(金融商品取引業者) 福岡財務支局長(金商)第5号	日本証券業協会 第二種金融商品取引業協会

●発行-2023年12月 ●編集-株式会社福岡金融グループ 経営企画部  
 〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3 TEL (092) 723-2500(代表)

# FUKUOKA FINANCIAL GROUP



FFG中間期ディスクロージャー誌2023  
 あなたのいちばんに。編



## ごあいさつ



ふくおかフィナンシャルグループ  
取締役社長  
五島 久

皆さまには平素より格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

FFGの営業基盤である九州の経済は、コロナ禍からの社会活動の正常化に伴い、設備投資や個人消費が持ち直し、緩やかな回復が続いています。なかでも、製造業の設備投資は、TSMCの熊本進出を起点に工場施設や機械等の新・増設が活発化しており、全国を大きく上回る水準で推移しています。

このような環境下、2023年度中間期は、中小企業向け貸出金や投資信託残高の増加など、営業部門が好調に推移したことにより、本業の利益を示すコア業務純益は過去最高となりました。

昨年4月にスタートした第7次中期経営計画の各施策は順調に進捗しています。この中間期は、個人バンキングアプリや事業者向けポータル「BIZ SHIP」など、新たなデジタルチャネルをリリースしました。個人バンキングアプリは、デジタルに詳しくない方も含めて全てのお客さまに「寄り添う」をコンセプトに開発しました。残高照会や入出金明細照会、振込といった基本機能を中心に、どなたでも簡単かつ安心・安全に銀行取引が利用できるサービスです。

今後もデジタル機能を充実させますが、私たちは、お客さまとのface to faceのコミュニケーションも、これまで以上に大切にします。ヒューマンタッチなサービスと高品質なコンサルティングにより、お客さまや地域の課題解決に取り組み、「豊かな地域社会づくり」に貢献してまいります。

今後、より一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## TOPICS

**みんなの銀行**  
「日本DX大賞」  
BX(ビジネストランスフォーメーション)  
部門大賞受賞



スタートアップの成長支援・  
地域企業のイノベーション創出  
支援施設  
『GROWTH I』開設

### GROWTH I

### 福岡中央銀行との経営統合

2023年10月1日、FFGは福岡中央銀行と経営統合しました。この経営統合は、ともに福岡県を本拠地とする両社が一緒になって、地域経済の持続的成長に貢献していくことを目的としたものです。

経営統合後の福岡中央銀行は、これまで同行が経営理念に掲げてきた「中小企業専門金融機関」としての役割をさらに進化させます。業務の効率化を推進するとともに、最適な営業体制を構築し、そのなかで生じたリソースを積極的に営業部門へ投入し、これまで以上にお客さまに寄り添うことを目指します。

経営統合後、FFG傘下の福岡銀行と福岡中央銀行は、合併は行わず、地域のお客さまのために、それぞれの強みを活かした事業活動を行ってまいります。



### FFG3行の銀行アプリが「2023年度グッドデザイン賞」を受賞

グループ3行が展開する「福岡銀行アプリ」「熊本銀行アプリ」「十八親和銀行アプリ」が、「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

直感的な機能配置や一問一答の入力形式、細かなワーディングなど、お客さまを迷わせないためのデザイン設計や各銀行の特色に合わせたUIなどが評価されました。

今後も、お客さまのニーズにお応えするため、継続的な機能追加や改善に努めてまいります。

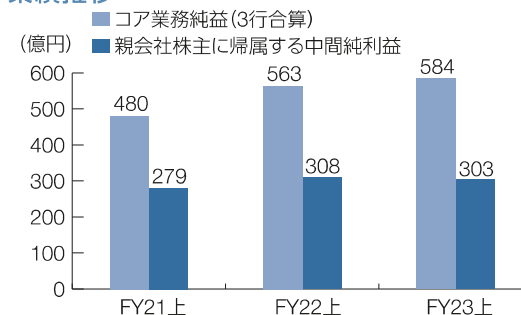


福岡銀行アプリ 熊本銀行アプリ 十八親和銀行アプリ

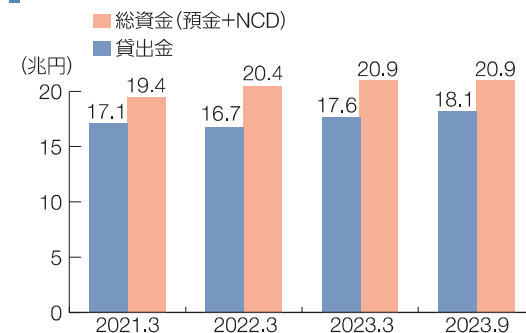
## 業績ハイライト (2023年度中間期)

■福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行の3行合算の損益情報  
コア業務純益(3行合算)は、中小企業向け貸出金の増加など、営業部門が好調に推移し、前中間期比+21億円増加の584億円(過去最高)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、信用コストの増加(再生支援等の取り組みによる一過性の要因を含む)により、前中間期比▲5億円減少の303億円となりました。

### 業績推移



### 預貸金末残(連結)



### 連結自己資本比率

